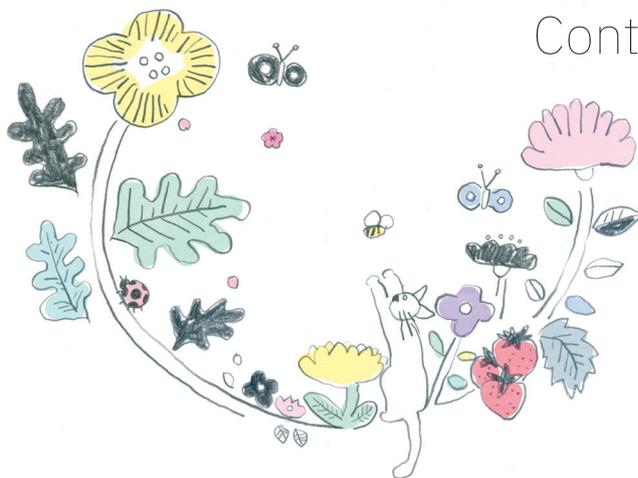


# 季刊ジャネット Ja-Net

スリーイーネットワーク

April 2020

No. 93



## Contents

- 4 あちこち日本語ご紹介  
神奈川県 横浜市
- 5 みんなの“日本語View from the Other Side”  
アニシャ アラムさん、ズベリ アラムさん(バングラデシュ)
- 6 教材紹介  
『外国人のためのケーススタディで学ぶビジネス日本語 中級』  
『新完全マスター語彙 日本語能力試験N4』
- 8 インフォメーション

## 巻頭寄稿

# 「たくさんの国につながる 仲間がいます」

横浜市立南吉田小学校 校長

金子正人



「南吉田小学校にはたくさんの国につながる仲間がいます」と児童のアナウンスで開会する運動会

## 6カ国語のアナウンスで始まる 運動会

南吉田小学校の運動会は、日本語、中国語、英語、韓国・朝鮮語、タガログ語、タイ語のアナウンスで始まります。開会セレモニーの中では、日本、中国、ベトナム、韓国、フィリピン、台湾の子どもたちが民族風の衣装に身を包み聖火をリレーし聖火台に点火します。19の国や地域につながる子どもたちが参加する運動会は、さながらミニオリンピックです。本校では日本の文化とともに在籍する子どもたちの国の文化を大切にしています。

## 学校の概要

本校は横浜市庁舎や横浜スタジアムなどがある市の中心部から地下鉄で2駅ほどの場所にあります。学区には昔ながらの商店街や酉の市がたつ神社など下町情緒ただようスポットがあり、親子四代、五代で本校の卒業生という地元住民も少なくありません。近年はその利便性から新築マンションが次々に建ち並び、外国人を含む住民が移り住んでいます。

外国につながる子どもが増えたのは10年以上前からで、2009年にはすでに全校児童の32%を占めていました。2020年1月現在その割合は58%を超え、全校の半数以上が外国につながる子どもというユニークな学校です。こうした子どもたちが増えた理由は、近くに中華街があることや、都心部に比べて住宅の家賃や値段が安いことなどが考えられます。

外国につながる子どもの増加にともなう多文化共生教育を充実させるとともに、日本語指導の充実を図ってきました。

## 異なることを豊かさに変えて 【食を通じた交流】

本校では運動会以外にも年間を通して多文化共生を目的とした活動に取り組んでいます。

外国につながる子どもで最も多いのは中国の子どもたちです。そこで、日本人と中国人の交流を深めるために親子で参加する餃子パーティーを開いています。人権担当の教員と中国人の保護者が打ち合わせをし、全校に呼び掛けて7月に行います。おいしい餃子が食べられるとあって大人気の催しで、日本人親子もたくさん参加します。皮から作った餃子をゆで、熱々を食べます。去年は100名近い親子が参加し食を通して交流を深めました。

12月には、韓国語教室のオープンクラスとしてキンパ(韓国ののりまき)作り教室が行われます。韓国語教室の先生が食材を準備しキンパの作り方を実演してくれます。韓国につながる児童だけでなく日本人、中国人、フィリピン人親子も参加して、楽しみながら作って食べました。

学校給食では年3回「MYワールドランチ」という独自献立を行っています。

## 様々な国の文化に触れ、 お互いの国の文化を 尊重できるようになってほしい



色鮮やかな衣装をまとった児童による国際色豊かな聖火リレーのあとは、応援団によるエールの交換、応援合戦へと続く。運動会が終わった後は振り返りの時間も大切にしている。準備から終わった後まで、運動会は子どもたちのたくさんの学びがある行事だ

す。栄養士が中心になって献立を考え、調理員と協力して世界の料理を提供します。昨年度はフィリピン、ベルギー、中国の料理が出されました。普段は和食が多いのですが、珍しい料理が食べられるとあって子どもたちはワールドランチが大好きで心待ちにしています。

こうした取り組みを通して、様々な国の文化に触れ、お互いの国の文化を尊重できるようになってほしいと願っています。

### 日本語指導の充実

本校には年間を通して中国等から編入する児童が多数おり、日本語指導に力を入れています。来日当初の児

童はクラスに在籍しつつ、①日本語支援拠点施設「ひまわり」(学校とは別施設)②日本語教室(校内)③国際教室(校内)の3つの学びの場で初期指導を受けます。

#### ① 日本語支援拠点施設「ひまわり」

横浜市教育委員会が2017年に設置した施設で、週3日通級<sup>※1</sup>方式で参加します。4週間にわたって初期日本語指導を受けるとともに、日本の学校生活を体験します。保護者向けガイダンスもあり日本の学校について理解してもらっています。



水餃子作りを通して保護者が交流を図る「MYぎょうざパーティー」。中国人の保護者が中心となって作り方を指導する。大量の水餃子を茹で上げ、中国人親子、日本人親子がテーブルを囲んで和気あいあいとおいしい餃子に舌鼓を打った



当初2名の担当教員で  
スタートした国際教室

## ② 日本語教室

横浜市教育委員会が派遣する日本語指導の専門家による初期指導教室です。講師は母語にも対応し、学校内で取り出し\*2による指導を行います。本校には3名の講師が派遣されています。

## ③ 国際教室

国際教室担当教員が配置され、各学年1名+初期指導1名の7名で運営しています。国際教室は初期段階と初期指導終了後の在籍学級の国語学習のフォローという二段階に大別できます。子どもにもよりますが、来日後1年程度は初期指導の教員のもとで日本語を学び、その後は各学年担当の教員に引き継がれ、主に国語の教科書を用いて基礎的な言語事項を学び語彙を増やしていきます。国際教室には学生ボランティアも関わっています。

## ④ 外国語補助指導員

本校にはさらに中国語と英語の分かる外国語補助指導員が1名配置されており、編入手続きや学校ガイダンス、編入当初の適応に関する対応、保護者への連絡などきめ細かい支援を行っています。初期指導、在籍学級での支援、友達同士のトラブルや問題行動の対応などあらゆる場面で子どもたちを支えています。

## ⑤ 母語支援ボランティア

横浜市国際交流協会が運営する「みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ」(以下みなみラウンジ)から紹介された母語対応のボランティアスタッフが来日当初の児童に付き添い、初期指導や生活適応だけでなく、算数や社会、理科など学籍学級での学習支援にも入ります。

## 在籍学級との連携

来日直後に就学面談にやってくる子どもたちを見ていると、緊張して一言も話せない子、質問の度に母親の顔を見て確認する子、はきはきこたえる子など実に様々です。編入後も、すぐに学校生活に慣れる子、お母さんと離れられずに泣く子、教室で様子をうかがっている子と個性が現れます。これまで慣れ親しんだ友達や学校、生まれ育った家やまちと別れ、突然日本の生活を始めるのですからストレスを感じて当然です。

そこで、来日当初は子どもの様子を注意深く観察し、担任が国際教室担当や外国語補助指導員、母語支援ボランティア、養護教諭、児童支援専任さらには職員室アシスタント、学校カウンセラー等と連携して丁寧に関わるようにしています。

学校では、日本語習得を優先してしまいがちですが、子どもの気持ちを第一に考え、安心して生活できるように支援しています。気持ちが安定することで、はじめて子どもは学習に集中し日本語を身に付けていくことができます。

このように、本校では外国につながる子どもの増加に伴い、多文化共生教育や日本語指導の充実を図ってきましたが、その過程で連携や人材活用が進みました。ここ10年ほどの間に、学校の設置者である横浜市教育委員会が体制整備を行い、区役所も支援策を打ち出し、みなみラウンジがコーディネート機能を発揮することで連携が促進されました。

関係機関連携を進めることで、学校だけでは解決できない課題にも対応できるようになってきました。まだまだ課題はありますが、日本人も外国につながる子どもも安心して豊かに生活できる学校づくりを目指していきたいと考えています。

\*1通級…通常の学級の他に個別的な特別支援教育を受けることの出来る制度

\*2取り出し…在籍学級以外の教室で集中的に行うこと

参考 山脇啓造、服部信雄編著(2019年)『新 多文化共生の学校づくり』明石書店

南吉田小学校ウェブサイト



## 金子正人 (かねこまさひと)

横浜市立南吉田小学校校長  
95年から3年間台北日本人学校勤務。98年から8年間横浜市立いちよう小学校(当時)で国際教室を担当し日本語指導にあたる。教育委員会事務局やこども青少年局勤務を経て2019年4月から現職。いちよう小での実践は「多文化共生の学校づくり」(山脇啓造ほか編、2005年、明石書店)として発行。



# あちこち日本語ご紹介

神奈川県 横浜市

## 在籍学級と国際教室が連携した 指導の工夫

横浜市立南吉田小学校 校長 金子正人

横浜市立南吉田小学校は全校の58%が外国につながる子どもというユニークな学校です。日本語指導は日本語教室や国際教室で行われていますが、ここでは1日のほとんどの時間を過ごす在籍学級での学びの工夫について紹介します。研究授業の一コマです。

### お店屋さんごっこの実践から (1年生)

1年生が、お店屋さんごっこを通して、上位語と下位語の違いを理解し使い分けたり、対話をしながら品物の売り買いのやり取りをしたりするという授業をしました。

ケーキ屋さんには、ショートケーキ・モンブラン・プリン、魚屋さんには、あじ・さば・マグロ・ふぐ、果物屋さ

んには、みかん・リンゴ・メロンなど自分たちの手作りした品物カードが売り物として並べられています。売り手と買い手に分かれて買い物をしますが、その際のやり取りに注目してみました。日本語が十分身に付いていない子は、「こんにちは」「〇〇をください」「ありがとうございます」などの基本のやり取りができることを目標にしますが、できる子は相手の発言を受けて



文房具屋さんの品物カード。クレヨン・のり・おりがみなど、それぞれ色違いも置いてある



ケーキ屋さんごっこ。右側の白い帽子の児童が売り手役、左側の赤い帽子の児童が買い手役

話をつなぐことが目標になっています。「このお店のおすすめは何ですか」「おすすめは〇〇です」「すみません、売り切れました」「このメロンは甘いので家に帰ったらすぐに食べてください」「魚は新鮮です。お早めに食べてください」「このパズルは難しいですよ。でもおもしろいです」などその場面にあったやり取りの言葉が交わされます。動物を売っているお店にはライオンやトラも並んでいました。中国につながる子どもに「ライオンはおうちで暴れませんか」と尋ねると「ここにいる動物は大丈夫です」という返事が返ってきました。

この単元では、国際教室担当も在籍学級に入って一緒に授業をしました。活動中心の授業なので日本語が十分でない子も参加できると考えたからです。上位語と下位語を整理しワークシートに書き込む時間では、国際教室担当が言葉絵図鑑を横に置いて物の名前の日本語を補足したり、上手に描いた絵をほめたりします。また、お店屋さんごっこの練習では、やり取りの例を示し発話を促します。国際教室に通う子どもたちも、慣れてくると「甘いですよ」「おいしいですよ」「おすすめですよ」と自分なりに考えて商品の紹介をすることができました。中には「〇〇は日本語で何て言うの」と積極的にきく子もいます。

普段は国際教室で取り出し授業を受けている子どもたちも、この単元では在籍学級の子どもたちと同じように授業を受け、学んだ日本語を一生懸命に使おうと努力していました。こうした経験を通してクラスの仲間と一緒にできることを実感し、少しずつ自信をつけ、学習への意欲が高まることが期待されます。

# みんなの“日本語View from the Other Side”

このコラムでは、学習者や日本語に携わる方の視点から話題をお届けします



ズベリさん(弟)

アニシャさん(姉)

## アニシャ アラムさん

2006年1月ダッカで生まれる。  
2012年9月～2015年9月(3年1カ月)、  
2018年9月～2019年8月(1年) 日本  
滞在。JLPT N2合格。現在、バングラデ  
シュのUdayan Schoolに通う中学3年生。

## ズベリ アラムさん

2010年5月ダッカで生まれる。  
2012年9月～2015年9月(3年1カ月)  
日本滞在。  
2018年9月～2019年8月(1年) 日本  
滞在。現在、バングラデシュのUdayan  
Schoolに通う小学4年生。

illustration 内山洋見

## —日本語との出会いを教えてください。

**アニシャ(姉)：**父はダッカ大学で日本言語文化学科の教授を、母は長年、民間学校で日本語教師をしています。両親はたびたび日本へ留学しており、私たち姉弟がはじめて日本に行ったのは、私が6歳、弟が2歳のときでした。3年以上日本に滞在して、自然な日本語に触れました。両親共にバングラデシュ人ですが、幼い頃から家では日本語の歌が流れていて、

## 「君たちは日本人のようだね!」とよく言われます

バングラデシュで日常会話が日本語のアラム姉弟に聞きました

海外と言ったら「日本」という印象でした。今でも多くの日本人が家に遊びに来ます。

## —家の中では何語を話しているのですか？

**アニシャ：**家では、弟とほぼ100%日本語でしゃべっています。両親に声をかけるときも日本語ですが、両親はほとんどベンガル語で返してきます。学校の友達とはベンガル語です。

**ズベリ(弟)：**日本の友達とLINEやテレビ電話をしています。毎日YouTubeで日本のアニメなども見ているので、日本語は日常的に使っています。学校では、英語を媒介語とした授業を行っているため、先生とクラスメイトとの会話は英語が多いです。

## —日本での思い出はありますか？

**アニシャ：**日本の学校では美術部に所属していましたが、バングラデシュの学校では部活動がなくて寂しいで

す。でも、自分で絵や漫画などを描き続けています。学校の科目としてDrawingがあり、日本で学んだように細かいところまで丁寧に描くため、担任の先生に褒められます。

**ズベリ：**僕は学校給食が懐かしいです。こちらの学校は朝の8時から午後12時40分のため、給食の制度はありません。でも、途中で20分の休憩があり、ほとんどの友達は学校の校内売店でスナックを買って食べますが、僕もお姉さんも日本の制度に慣れていて、毎日家から簡単な弁当を持って行きます。弁当の中身も飾り方も日本式のため、友達が興味を持っていろいろ聞いてきます。たまに、勝手に食べられてしまっていることもあり、二人とも困っています。

僕は担任の先生に「この学校の数千人の生徒の中で一番礼儀正しい」と褒められました。保護者のミーティングで担任の先生がお父さんにそう言ってくれたようです。もしかしたら、僕の身につけている日本のマナーや行動などが高く評価されているのかもしれませんが。

## —日本語の勉強はこれからも続けていきますか？

**アニシャ：**日本の大学で美術の勉強をしたいと思っています。そのため、JLPT N1に合格することが必要なこともわかっています。留学ができれば、昔の友達に会ったときに自然な日本語ができないと困るので、意識しながら頑張っていこうと思います。

**ズベリ：**僕は日本の大学でコンピューターかエンジニアリングの勉強をしたいので、これからも日本語の勉強を続けていこうと思います。

## 『外国人のためのケーススタディで学ぶビジネス日本語 中級』

千駄ヶ谷日本語教育研究所 著 B5判 220頁 別冊50頁(予定) 2,400円+税 7月発行予定

### 「日本のビジネス文化への理解」と 「実践的なコミュニケーション力の向上」を目指して

千駄ヶ谷日本語教育研究所理事長 吉岡正毅

#### 本教材の特長

外国人材の受け入れは、ますます広がりを見せていますが、せっかく日本の企業に採用されても、日本語能力がビジネスレベルに達していない、日本のビジネス文化になじまない、周囲とのコミュニケーションがうまく取れない、といった理由で、能力が十分に発揮されず、評価も芳しくない、という不幸な現象も散見されています。

そこで本書は、外国人材が採用先で遭遇しやすい事象をもとに、ビジネス文化を解説した文章やケーススタディ、学習者同士のディスカッションを通して、読解力を伸ばすだけでなく、**日本のビジネス文化についての理解を深め、その上で、実践的なコミュニケーション能力が身につく教材**を目指しました。

#### 対象とする学習者

本書は、日本企業や日系企業で勤務を希望する以下のレベルの方々を対象としています。

- ・STBJ (標準ビジネス日本語テスト) BJ 3レベル以上
- ・JLPT (日本語能力試験) N3レベル以上
- ・CEFR (欧州言語共通参照枠) B1相当レベル程度
- ・日本語学習 初級・初中級修了レベル

#### 各課の構成

各課は、**ケーススタディを軸とする「読解」編と、実践的なコミュニケーション能力の習熟を図る「会話」編**とに分かれています。

#### ＜読解編＞

まず、その課で学ぶテーマと主な内容を示した上で、外国人材が新人期に遭遇しやすい典型的な場면을挙げて、背景にある文化的側面について解説した文章を読みます。学習者は、重要表現等も学び、読解力を伸ばすとともに、ビジネス文化・知識も吸収することができます。そして、読解の理解度を確認する内容質問に答えた後、「**ケーススタディ**」で、テーマに関連する具体的なビジネス場面を通して問題の所在と対応策について自身の考えをまとめ、ディスカッションを通して理解を深めます。

#### ＜会話編＞

課のテーマに関連したモデル会話を確認し、その談話構成を理解します。それから、モデル会話の中の重要表現を**スピーチレベル**も理解した上で練習し、最後にロールカードをもとに談話構成を考え、表現を運用し、会話を組み立ててロールプレイを行います。

課の終わりの「まとめ」では、その課で習得が期待される項目について習熟度を確認し、課の要点を「**ポイント**」で復習します。また、課の内容から少し発展させた「**ケーススタディ**」も設けてあります。

本書で学んだ方々が実践的なビジネス日本語コミュニケーション能力を身につけ、自信を持って活躍されることを心から期待しています。

# 『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N4』

三好裕子・本田ゆかり・伊能裕晃・来栖里美・前坊香菜子 著 B5判 130頁 別冊18頁(予定) 1,200円+税 6月発行予定

## N4の受験対策を通して初級語彙の復習と定着を目指す

チュラロンコン大学 (タイ・バンコク) 講師 三好裕子

本書は、「新完全マスター」シリーズの一冊で、近年急増している日本語能力試験 N4 受験者のための受験対策用に企画されたものです。しかし、受験対策としてだけでなく、初級で学習した語彙を復習し、定着させ、さらに上のステップへ進むための語彙力をつけることも目指しています。

### 特長

本書の第一の特長は、**N4合格を目指す学習者が効率よく学習できるようにすることを念頭に、客観的なデータに基づき作成されている点**です。掲載語の選択にあたっては、過去の試験問題や公式問題集の問題等を分析し、出題傾向を探るとともに、**大規模言語データベース(コーパス)や、初級教科書に掲載されている語の情報など、客観的なデータからの情報も加味**して、出題の可能性が高いと思われる語を採用しました。

第二の特長は、**初級語彙の理解と定着を促すための練習問題の工夫**です。初級の学習者は、訳や例文で語の意味を確認しただけで、その語は「わかった、学習済みだ」と錯覚してしまいがちです。そこで、本書では、練習問題を、基本的に1つの語について1回は出題し、**練習問題を解く中で正確に覚えられていないこと、理解できていないことに気づけるように**しました。課の構成についても、その課で学習する目標語のリストの下に、語の

形と意味を確認するために目標語を( )に入れる問題を載せ、次のページの練習問題で理解と記憶を確かめる、という流れにしました。

第三の特長は、学習者の負担を軽減し、目標語に焦点が当たるように、**例文や練習問題に使用する文法や語句の難易度を調整した点**です。N4受験者は初級後半レベルで、基本的な文法や語彙を学習中である場合が多いと思われる。本書は、例文や練習問題に未習の語や文法項目が出てくことで注意がそれるのを防ぐため、国内の日本語教育機関で多く使用されている『**みんなの日本語初級 第2版**』に準拠し、**その文法・語彙項目の提出順に沿うように、作成されています**。『みんなの日本語初級Ⅱ』を使用している場合は、教科書の進度に合わせ、**語彙の復習教材としても使用できる**と思います。

### 内容

全50課：1課につき8～15語、全683語を掲載

まとめの問題 6回

模擬問題 1回

コラム 2回：「接辞」と「自動詞・他動詞」のまとめ

中級クラスの学習者を教えていると、「初級で勉強したはずの言葉なのに…」と嘆きたくなることがしばしばではないでしょうか。中級へと進むための基礎となる初級語彙がしっかりと初級段階で身につくように、本書を多くの方に活用していただければ幸いです。

13課 生活③		
① ジャケット	ジャケットを脱ぎました。	take off do khoc
② 下着	新しい下着を買いました。	underwear quán áo lót
③ 道具	これは野菜を切る道具です。	tool đụng cụ, dao cạo
④ 忘れ物	これは田中さんの忘れ物です。	something left behind đồ bị quên
⑤ クリーニング(する)	この服はクリーニングできません。	clean giặt
⑥ 生活(する)	日本で生活しています。	live sinh hoạt, sinh sống
⑦ 植える(Ⅱ)	庭に花を植えました。	plant trồng
⑧ 消える(Ⅱ)	テレビが消えています。	be off, go out đi (trở) động cơ
⑨ つく(Ⅰ)	電気がつきません。	be on bật (trở) động cơ
⑩ はく(Ⅰ)	きょうは赤い靴をはきます。	wear mặc (quần áo, giày dép)
⑪ 引く(Ⅰ)	そのドアは引いてください。	open, pull back kéo, rút
⑫ 拾う(Ⅰ)	道でお金を拾いました。	pick up nhặt, kiếm
⑬ 汚れる(Ⅱ)	ワインで服が汚れました。	become dirty, be a mess bẩn, dơ
⑭ 気をつける(Ⅱ)	風邪に気をつけてください。	be careful cẩn thận, chú ý
⑮ 十分(Ⅱ)	たくさん食べましたから、もう十分です。	enough đủ

② ( )にことばを書いてください。

例) 帽子を( かぶって )います。

(1) シャツの下に( )を着ています。 (2) 長い靴下を( )ています。

(3) ( )を着ています。 (4) ネクタイを( )ています。

例)

③ ( )に なにを いれますか。いちばん いい ものを 一つ えらんで ください。

(1) たなかさんの へやは とても ( )。

a. かかっています b. きえています c. はいいています d. よごれています

(2) いえの ちかくで じてんしゃの かぎを ( )。

a. うえました b. ひきました c. ひろいました d. もちました

④ つぎの ことばの つかいかたで いちばん いい ものを 一つ えらんで ください。

(1) わずれもの



## 近刊

新訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級前期	1,500 円	5月発行予定
新完全マスター語彙 日本語能力試験 N4	1,200 円	6月発行予定
はじめて学ぶ介護の日本語 生活知識とコミュニケーション	1,500 円	7月発行予定
外国人のためのケーススタディで学ぶビジネス日本語 中級	2,400 円	7月発行予定
新訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 上級	1,500 円	7月発行予定

### 「みんなの日本語初級Ⅰ 第2版 教え方の動画」第24課公開しました

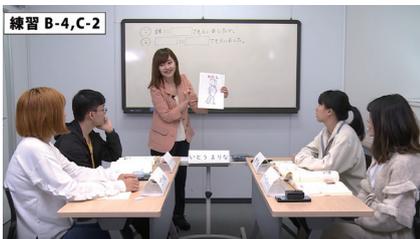
今までに日本語を教えたことのない方々を対象に日本語の授業の流れをイメージしていただくための動画をウェブサイトで公開しました。授業で教える際の核となる各学習項目の「導入」と「基本練習」に特化して、一例を紹介しています。

#### ●第24課の構成

- 学習項目1 「～を くれます」約15分
- 学習項目2 「～て もらいます」約14分
- 学習項目3 「～て くれます」約11分
- 学習項目4 「～て あげます」約10分

スリーエーネットワークのウェブサイトで購入、ストリーミング再生でご利用いただけます。「教え方の動画」は第1課、第7課、第14課も公開しています。ご自身の授業を組み立てる際の参考として、ご利用ください。(各課400円)

<https://www.3anet.co.jp/np/books/9004/>



### 「こどものにほんご」無料補助教材 文型導入用イラスト、ことばのベトナム語訳公開

外国人児童のための初級日本語教科書「こどものにほんご」シリーズ。このたび、イラストで導入すると効果的な文型を35枚の絵カードにまとめた「文型導入用イラスト」と、メインテキスト巻末に掲載された「ことば」リストのベトナム語訳をスリーエーネットワークのウェブサイトに無料公開しました。ダウンロードしてご利用ください。

<http://bit.ly/KodomoNoNihongo>



### 「新完全マスター単語 日本語能力試験 N1 重要2200語」アプリと確認テストのご案内

2020年3月発行の「新完全マスター単語

日本語能力試験N1 重要2200語」は難しいN1レベルの単語を品詞やカテゴリごとに配列し、よく使われる複合語、派生語などの関連語もあわせて確認できる一冊です。約200語ごとに読み物のページがあり、学習した単語が文章の中でどのくらい理解できるかを確かめられます。

アプリでは、見出し語と読み物の音声を読み取り、チェックボックス機能を使って、覚えていない単語だけを繰り返し確認したりできます。AppStoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。アプリ内課金(各言語370円)をすると、見出し語と読み物の翻訳(英語・中国語・ベトナム語)を表示させることができます。

また、本書をご採用の教育機関の方々を対象に、単語をカテゴリごとに30～50程度に分けた51回分の確認テストをお送りしています。

#### 詳細・確認テストのお申込み

<https://bit.ly/ShinkanzenTango>



季刊ジャネット

# Ja-Net No. 93

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2020年4月25日発行

● 発行人 藤寄政子  
● 発行所 (株)スリーエーネットワーク  
Ja-Net 編集室  
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4  
トラステイ麹町ビル2F  
TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729  
E-mail: sales@3anet.co.jp  
<https://www.3anet.co.jp/>

● デザイン ベーシック 畑中 猛  
● イラスト 須山奈津希(P.1, 8)  
● 印刷 (株)ワコー  
© 2020 by 3A Corporation  
Printed in Japan (禁無断転載)

「Ja-Net」をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。次号は2020年7月25日発行予定です。